

新宮山彦ぐるーぶ第1988回

## 行仙宿の巡回整備(台風20号後の行仙宿・水場の点検等)

◇：実施日 平成三十年八月二十七日(月) 晴  
◇：参加者 生熊敏男。

1名。

前回(八月 五日)の小屋整備便槽掃除の際、固形沈殿物対策として各々に便槽を攪拌出来たら良いとの話が出て思うところがあった。二十号被害の点検を兼ねて一人で登った。

各地の道路、林道被害の話聞いていたが、我が乗用車で行けるのは行仙宿ぐらいであり、来る九月二日の聖護院接待も近づいている事から出かける、

家を七時十五分に出て、いつもの北山大沼経由で国道 R425 の浦向に入った、はずれの交通規制看板には通行止(トンネル 10ヶ先)と出ている。

話聞いていたカナウナギトンネル付近の電線垂れ下がりはずで通行に支障のないよう処理されていてスムーズに林道に入った、ここもすでに重機で土砂、倒木が処理されていて八時五十分登山口へ。但し堰堤と道路間の水の流れている谷は土砂で埋まっているが水汲みは出来る、ポリ缶二個に持ってきた樋で入れモノレールで上げる。五日以後だれか来たのかエンジン燃料もモノレールも満タンになっている。

モノレールに異常は無かったが終点から上は枝葉が散乱している、幸い太い倒木もなく手で払いながら小屋へ。

早速外回りを一巡、ガラス窓は汚れているものの異常なし、相変わらず落葉は多い。

続いて水場へ降りて見ると水溜め場には三百kg〜六百kg位の大岩が数個で埋め尽くされている。それにしめ縄と柄杓がすっかり無くなっている。修復には大岩を大ハンマーでたたき割りバール

等で除去しかない、岩の落口から落ちている水をペットボトル三本に入れ小屋に戻る、

少し遅い昼飯後、行者堂西百メートル程の所に道を塞いだ倒木あり手鋸で処理できた、

二缶目の水揚げにモノレール終点に降り小屋へ戻ると十五時を過ぎてしまった、車止めを十六時に出発し帰路に就いた。

### 行動タイム

自宅 7時 15分 → R168 → R311 → 登山口 8時 50分 → 9時 45分行仙宿 15時 15分 → 16時 車止め → 帰路。

(記：生熊)